

エマージング・ボンド・ファンド・カレンシー・セレクション

米ドル・ポートフォリオ／
ユーロ・ポートフォリオ／
豪ドル・ポートフォリオ／
南アフリカランド・ポートフォリオ

ケイマン諸島籍契約型外国投資信託／追加型

交付運用報告書

作成対象期間 第13期
(2021年8月1日～2022年7月31日)

その他記載事項
運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイト
(<https://www.sc.mufg.jp/>)の投資信託情報ページにて
電磁的方法により提供しております。

サブ・ファンドの運用報告書(全体版)は受益者のご請求
により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社
までお問い合わせください。

管理会社

ルクセンブルク三菱UFJ
インベスターサービス銀行S.A.

代行協会員

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、エマージング・ボンド・ファンド・カレンシー・セレクション(以下「ファンド」といいます。)のサブ・ファンドである米ドル・ポートフォリオ、ユーロ・ポートフォリオ、豪ドル・ポートフォリオおよび南アフリカランド・ポートフォリオ(以下、個別にまたは総称して「サブ・ファンド」といいます。)は、このたび、第13期の決算を行いました。

サブ・ファンドの投資目的は、ケイマン諸島のユニット・トラストであるピムコ・ケイマン・トラストのサブ・ファンドであるピムコ ケイマン エマージングボンド ファンドAまたはピムコ ケイマン エマージングボンド ファンドB(以下「フィーダー・ファンド」といいます。)のクラスF受益証券への投資を通じて、主として米ドル建ての新興国債券に投資することにより、最大限のトータル・リターンを追求することにあります。フィーダー・ファンドは、ピムコ ケイマン エマージングボンド ファンド(M)(以下「マスター・ファンド」といいます。)に投資することによりその投資目的の達成を目指します。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第13期末			
サブ・ファンド名		1口当たり 純資産価格	純資産総額
米ドル・ポートフォリオ	(米ドル)	66.87	19,509,267.19
ユーロ・ポートフォリオ	(ユーロ)	44.13	2,522,788.48
豪ドル・ポートフォリオ	(豪ドル)	31.04	9,187,152.76
南アフリカランド・ポートフォリオ	(南アフリカランド)	516.45	171,651,307.20
第13期			
サブ・ファンド名		騰落率	1口当たり 分配金合計額
米ドル・ポートフォリオ	(米ドル)	-19.49%	4.68
ユーロ・ポートフォリオ	(ユーロ)	-21.98%	2.04
豪ドル・ポートフォリオ	(豪ドル)	-19.48%	2.37
南アフリカランド・ポートフォリオ	(南アフリカランド)	-15.15%	74.40

(注1)騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。以下同じです。

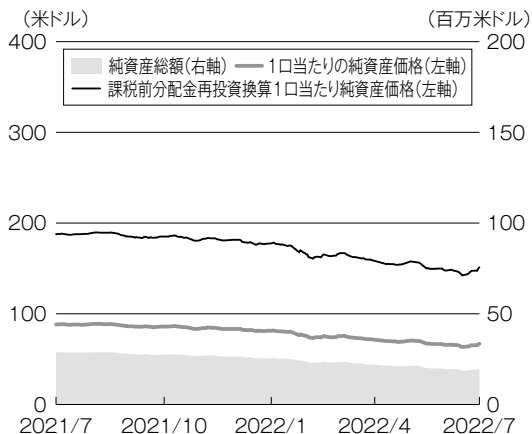
(注2)1口当たり分配金合計額は、税引前の1口当たり分配金の合計額を記載しています。以下同じです。

《運用経過》

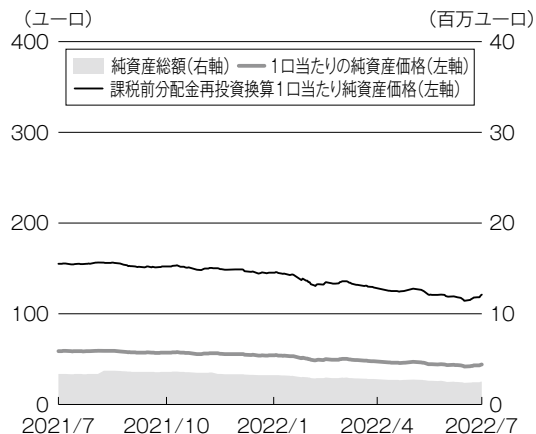
【当期の1口当たり純資産価格等の推移について】

- * 課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にサブ・ファンドへ再投資したとみなして算出したもので、サブ・ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。
- * 課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、当初発行価格(米ドル・ポートフォリオは100米ドル、ユーロ・ポートフォリオは100ユーロ、豪ドル・ポートフォリオは100豪ドル、南アフリカランド・ポートフォリオは1,000南アフリカランド)を起点として計算しています。
- * サブ・ファンドにベンチマークは設定されていません。
- * グラフの計算の基礎となる1口当たり純資産価格は、2021年10月12日以降、小数点以下第8位までの数値を使用しています。

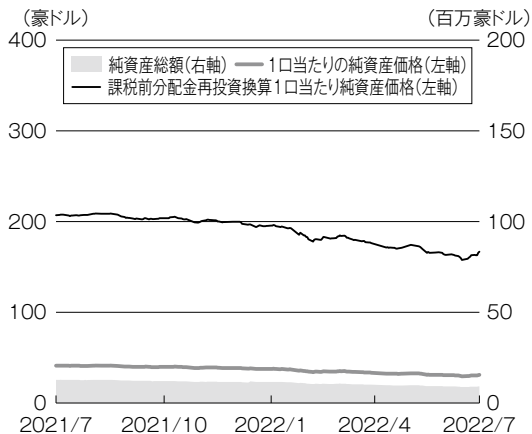
米ドル・ポートフォリオ



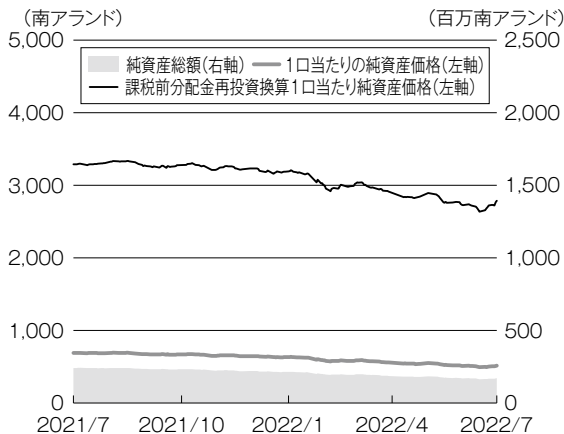
ユーロ・ポートフォリオ



豪ドル・ポートフォリオ



南アフリカランド・ポートフォリオ



	第12期末の 1口当たり 純資産価格	第13期末の 1口当たり 純資産価格	第13期中の 1口当たり 分配金合計額	騰落率
米ドル・ポートフォリオ (米ドル)	88.26	66.87	4.68	-19.49%
ユーロ・ポートフォリオ (ユーロ)	58.86	44.13	2.04	-21.98%
豪ドル・ポートフォリオ (豪ドル)	41.16	31.04	2.37	-19.48%
南アフリカランド・ポートフォリオ (南アフリカランド)	689.00	516.45	74.40	-15.15%

■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

[上昇要因]

- ・債券利子収入を獲得したこと
- ・南アフリカランド・ポートフォリオについては、米ドル売り、南アフリカランド買いの為替取引によるプレミアムを享受したこと

[下落要因]

- ・米国債金利が上昇したこと(債券価格の下落)
- ・エマージング債券のスプレッド(米国債に対する上乗せ金利)が拡大したこと
- ・ユーロ・ポートフォリオについては、米ドル売り、ユーロ買いの為替取引によるコストがかかったこと
- ・豪ドル・ポートフォリオについては、米ドル売り、豪ドル買いの為替取引によるコストがかかったこと

【費用の明細】

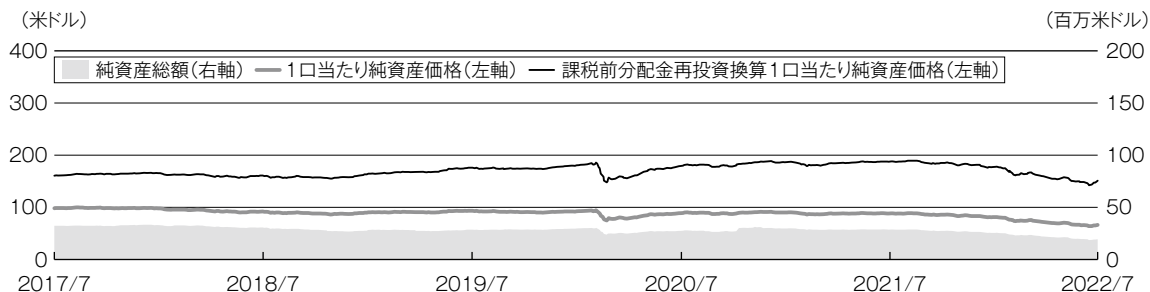
項目	項目の概要		
管理報酬 (副管理報酬を含みます。)、 保管報酬および 管理事務代行報酬	サブ・ファンドの純資産総額の 年率0.15% 管理報酬、保管報酬、管理事務代行報酬は、信託証書に定める管理会社、保管会社、管理事務代行会社としての業務の対価として、管理会社、保管会社、管理事務代行会社に支払われます。		
受託報酬	サブ・ファンドの純資産総額の 年率0.01% (各サブ・ファンド毎に10,000米ドルを下回らないものとします。) 受託報酬は、信託証書に定める受託会社としての受託業務の対価として、受託会社に支払われます。		
投資運用報酬 (副投資運用報酬を含みます。)	サブ・ファンドの純資産総額の 年率0.93% (このうちサブ・ファンドの純資産総額の年率0.59%が副投資運用報酬として副投資運用会社に支払われます。) 投資運用報酬は、関連するサブ・ファンドのポートフォリオの投資運用、資産の投資および再投資の管理業務等の対価として、投資運用会社に支払われます。 副投資運用報酬は、投資運用会社に提供する投資運用業務の対価として、副投資運用会社に支払われます。		
販売報酬	サブ・ファンドの純資産総額の 年率0.5% 販売会社報酬は、投資者からの申込または買戻請求を管理会社に取り次ぐ等の業務の対価として販売会社に支払われます。		
代行協会員報酬	サブ・ファンドの純資産総額の 年率0.05% 代行協会員報酬は、ファンド証券の純資産価格の公表を行い、また、目論見書および運用報告書等を販売会社へ送付する等の業務の対価として代行協会員に支払われます。		
その他の費用(当期)	米ドル・ポートフォリオ	0.26%	支払利息、仲介手数料・仲介報酬、斡旋手数料およびその他の類似の費用、ならびに特定の投資対象に関するデューデリジエンス、その他の専門家報酬およびコンサルティング料を含む投資費用、その他の運営費用(仲介手数料、弁護士報酬、監査報酬等)
	ユーロ・ポートフォリオ	1.27%	
	豪ドル・ポートフォリオ	0.65%	
	南アフリカランド・ポートフォリオ	0.37%	

(注)各報酬については、目論見書に定められている料率および金額を記しています。「その他の費用(当期)」には、運用状況等により変動するものや実費となるものが含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をサブ・ファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

【最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について】

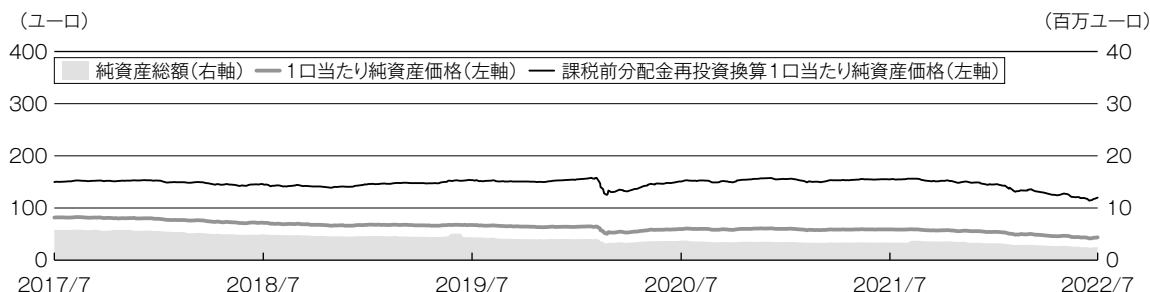
- (注1) 米ドル・ポートフォリオは2009年6月19日に当初発行価格100米ドルで設定されました。ユーロ・ポートフォリオは2009年6月19日に当初発行価格100ユーロで設定されました。豪ドル・ポートフォリオは2009年6月19日に当初発行価格100豪ドルで設定されました。南アフリカランド・ポートフォリオは2009年6月19日に当初発行価格1,000南アフリカランドで設定されました。
- (注2) 課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、当初発行価格(米ドル・ポートフォリオは100米ドル、ユーロ・ポートフォリオは100ユーロ、豪ドル・ポートフォリオは100豪ドル、南アフリカランド・ポートフォリオは1,000南アフリカランド)を起点として計算しています。
- (注3) サブ・ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。
- (注4) グラフの計算の基礎となる1口当たり純資産価格は、2021年10月12日以降、小数点以下第8位までの数値を使用しています。

米ドル・ポートフォリオ



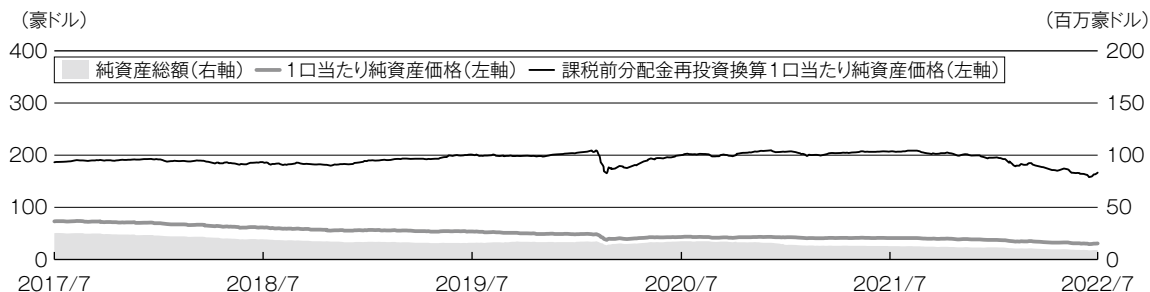
	第8期末 (2017年7月末日)	第9期末 (2018年7月末日)	第10期末 (2019年7月末日)	第11期末 (2020年7月末日)	第12期末 (2021年7月末日)	第13期末 (2022年7月末日)
1口当たり純資産価格 (米ドル)	98.20	91.87	93.33	89.08	88.26	66.87
1口当たり分配金合計額 (米ドル)	6.60	6.60	6.60	5.96	4.68	4.68
騰落率 (%)	4.56	0.22	9.31	2.14	4.45	-19.49
純資産総額 (米ドル)	32,346,582.79	30,600,585.77	28,531,185.49	27,514,840.55	28,672,695.68	19,509,267.19

ユーロ・ポートフォリオ



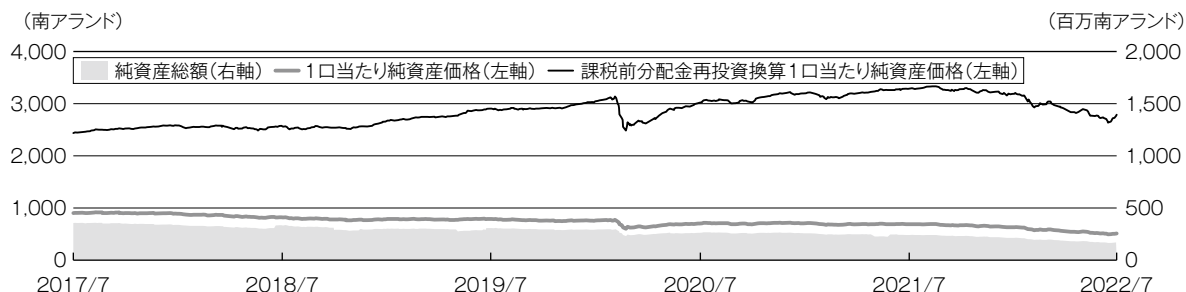
	第8期末 (2017年7月末日)	第9期末 (2018年7月末日)	第10期末 (2019年7月末日)	第11期末 (2020年7月末日)	第12期末 (2021年7月末日)	第13期末 (2022年7月末日)
1口当たり純資産価格 (ユーロ)	81.66	71.88	67.37	59.73	58.86	44.13
1口当たり分配金合計額 (ユーロ)	7.80	7.80	7.80	6.52	2.36	2.04
騰落率 (%)	2.10	-2.64	5.17	-1.40	2.55	-21.98
純資産総額 (ユーロ)	5,794,411.52	4,950,555.26	4,389,001.69	3,727,393.36	3,360,809.32	2,522,788.48

豪ドル・ポートフォリオ



	第8期末 (2017年7月末日)	第9期末 (2018年7月末日)	第10期末 (2019年7月末日)	第11期末 (2020年7月末日)	第12期末 (2021年7月末日)	第13期末 (2022年7月末日)
1口当たり純資産価格 (豪ドル)	73.22	61.60	53.72	43.24	41.16	31.04
1口当たり分配金合計額 (豪ドル)	11.88	11.88	11.88	9.92	3.50	2.37
騰落率 (%)	4.76	0.23	7.74	-0.49	3.44	-19.48
純資産総額 (豪ドル)	25,225,772.87	19,400,285.63	16,093,492.71	17,513,566.96	12,795,378.42	9,187,152.76

南アフリカランド・ポートフォリオ



	第8期末 (2017年7月末日)	第9期末 (2018年7月末日)	第10期末 (2019年7月末日)	第11期末 (2020年7月末日)	第12期末 (2021年7月末日)	第13期末 (2022年7月末日)
1口当たり純資産価格 (南アフリカランド)	902.81	822.72	788.69	705.80	689.00	516.45
1口当たり分配金合計額 (南アフリカランド)	128.40	128.40	128.40	110.40	74.40	74.40
騰落率 (%)	11.61	5.58	12.88	4.22	8.61	-15.15
純資産総額 (南アフリカランド)	355,486,530.16	334,270,794.81	308,078,461.29	263,539,901.12	241,483,543.17	171,651,307.20

【債券市況】

- ・ エマージング債券市況の代表的な指数であるJPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド(米ドルベース)は、前期末に比べ19.28%の下落となりました。
- ・ 期の前半、良好な米経済指標や原油価格の回復などがプラス要因となる一方、中国恒大集団のデフォルト懸念やオミクロン株の感染拡大などのマイナス要因が入り交じり、横ばいとなりました。しかし、期の半ばにロシアによるウクライナ侵攻を受けて投資家がリスク回避姿勢を強め、両国を中心にスプレッドは大幅に拡大しました。期末にかけては、FRB(米連邦準備制度理事会)による積極的な金融引き締めに伴いドル高が進行したことや、世界的な景気後退懸念が意識されたことなどによるエマージング諸国からの資金流出懸念により、スプレッドは一段と拡大基調しました。
- ・ 米国金利については、良好な米経済指標や原油価格の回復などから上昇しました。加えて、ロシアによるウクライナ侵攻を機に、サプライチェーンの混乱からインフレが加速し、FRBが大幅な利上げを進めたことから期末にかけて米国金利は大きく上昇しました。
- ・ 利子収入を得たことがプラス要因となったものの、米国金利の上昇やスプレッドの拡大がマイナス要因となり、エマージング債券市況は下落しました。

【為替市況】

(ユーロ)

- ・ 期中、ユーロ圏内においてインフレが進行し、ECB(欧州中央銀行)は7月に利上げに踏み切ったものの、FRBが先行して大幅な利上げを実施していたことなどを背景に、ユーロは対米ドルで下落しました。

(豪ドル)

- ・ 期中、同国においてインフレが進行し、RBA(オーストラリア準備銀行)は継続的に利上げを行ったものの、FRBがより大幅な利上げを実施していたことなどを背景に、豪ドルは対米ドルで下落しました。

(南アフリカランド)

- ・ 期中、FRBが大幅な利上げを実施したことや、世界的な景気後退懸念から同国の主要資源のプラチナが下落したことなどをを受けて、南アフリカランドは対米ドルで下落しました。

【為替取引によるプレミアム/コスト】

(ユーロ・ポートフォリオ)

- ・ ユーロの短期金利は米ドルの短期金利に対して低位で推移したため、これら2通貨間の短期金利差は為替取引によるコストとなりました。なお、ユーロの短期金利は上昇したものの、米ドルの短期金利がより大きく上昇したことから、米ドルとユーロの短期金利差は前期末より拡大しました。

(豪ドル・ポートフォリオ)

- ・ 豪ドルの短期金利は米ドルの短期金利に対して低位で推移したため、これら2通貨間の短期金利差は為替取引によるコストとなりました。なお、豪ドルの短期金利は上昇したものの、米ドルの短期金利がより大きく上昇したことから、米ドルと豪ドルの短期金利差は拡大しました。

(南アフリカランド・ポートフォリオ)

- ・ 南アフリカランドの短期金利は米ドルの短期金利に対して高位で推移したため、これら2通貨間の短期金利差は為替取引によるプレミアムとなりました。なお、南アフリカランドの短期金利は上昇した一方、米ドルの短期金利がより大きく上昇したことから、米ドルと南アフリカランドの短期金利差は前期末より縮小しました。

【ポートフォリオについて】

〈各ポートフォリオ〉

- ・各ポートフォリオは、各フィードラー・ファンドへの投資を通じて、主として米ドル建ての新興国債券に実質的な投資を行いました。また、一部のポートフォリオでは、各フィードラー・ファンドへの投資を通じて為替取引を行いました。

上記の結果、以下のとおりとなりました。

- 米ドル・ポートフォリオの課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、前期末に比べ下落しました。
- ユーロ・ポートフォリオの課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、前期末に比べ下落しました。
- 豪ドル・ポートフォリオの課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、前期末に比べ下落しました。
- 南アフリカランド・ポートフォリオの課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、前期末に比べ下落しました。

〈フィードラー・ファンド〉

各フィードラー・ファンドは主としてマスター・ファンドへ投資を行いました。

【為替取引によるプレミアム／コスト】

(ユーロ・ポートフォリオの投資するフィードラー・ファンド)

- ・米ドル売り、ユーロ買いの為替取引を行いました。ユーロの短期金利は米ドルの短期金利に対して低位で推移したため、これら2通貨間の短期金利差は為替取引によるコストとなりました。

(豪ドル・ポートフォリオの投資するフィードラー・ファンド)

- ・米ドル売り、豪ドル買いの為替取引を行いました。豪ドルの短期金利は米ドルの短期金利に対して低位で推移したため、これら2通貨間の短期金利差は為替取引によるコストとなりました。

(南アフリカランド・ポートフォリオの投資するフィードラー・ファンド)

- ・米ドル売り、南アフリカランド買いの為替取引を行いました。南アフリカランドの短期金利は米ドルの短期金利に対して高位で推移したため、これら2通貨間の短期金利差は為替取引によるプレミアムとなりました。

〈マスター・ファンド〉

- ・中央銀行の信頼性が高く、インフラ投資などを通じた中長期的な成長期待から南アフリカを積極姿勢としました。
- ・一方、カタールやアラブ首長国連邦などの中東諸国やフィリピンについては、利回り面での魅力が乏しいことなどを鑑み、消極姿勢としました。

【分配金について】

当期(2021年8月1日～2022年7月31日)の1口当たり分配金(税引前)はそれぞれ下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

米ドル・ポートフォリオ

(金額：米ドル)

分配落日	1口当たり純資産価格 ^(注1)	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率 ^(注2))	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額 ^(注3)
2021年8月20日	87.86	0.39 (0.44%)	-0.16
2021年9月21日	87.84	0.39 (0.44%)	0.37
2021年10月20日	85.50	0.39 (0.45%)	-1.95
2021年11月26日	83.43	0.39 (0.47%)	-1.68
2021年12月20日	83.23	0.39 (0.47%)	0.19
2022年1月20日	81.05	0.39 (0.48%)	-1.79
2022年2月24日	76.45	0.39 (0.51%)	-4.21
2022年3月22日	74.15	0.39 (0.52%)	-1.91
2022年4月20日	72.64	0.39 (0.53%)	-1.12
2022年5月20日	69.03	0.39 (0.56%)	-3.22
2022年6月21日	66.64	0.39 (0.58%)	-2.00
2022年7月20日	64.12	0.39 (0.60%)	-2.13

(注1) 当該分配落日が評価日でない場合には、当該分配落日の直後の評価日における1口当たり純資産価格とします。下記(注2)から(注4)を含め、以下本「分配金について」において同様とします。

(注2) 「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、サブ・ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

対1口当たり純資産価格比率(%) = $100 \times a / b$

a = 当該分配落日における1口当たり分配金額

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額
以下同じです。

(注3) 「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額 = $b - c$

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

c = 当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

以下同じです。

(注4) 2021年8月20日の直前の分配落日(2021年7月20日)における1口当たり純資産価格は、88.41米ドルでした。

ユーロ・ポートフォリオ

(金額：ユーロ)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率)	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額
2021年8月20日	58.60	0.17 (0.29%)	-0.21
2021年9月21日	58.61	0.17 (0.29%)	0.18
2021年10月20日	57.02	0.17 (0.30%)	-1.42
2021年11月26日	55.67	0.17 (0.30%)	-1.18
2021年12月20日	55.50	0.17 (0.31%)	0.00
2022年1月20日	54.03	0.17 (0.31%)	-1.30
2022年2月24日	50.88	0.17 (0.33%)	-2.98
2022年3月22日	49.38	0.17 (0.34%)	-1.33
2022年4月20日	48.33	0.17 (0.35%)	-0.88
2022年5月20日	45.79	0.17 (0.37%)	-2.37
2022年6月21日	44.20	0.17 (0.38%)	-1.42
2022年7月20日	42.33	0.17 (0.40%)	-1.70

(注)2021年8月20日の直前の分配落日(2021年7月20日)における1口当たり純資産価格は、58.98ユーロでした。

豪ドル・ポートフォリオ

(金額：豪ドル)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率)	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額
2021年8月20日	40.89	0.25 (0.61%)	-0.06
2021年9月21日	40.75	0.25 (0.61%)	0.11
2021年10月20日	39.62	0.25 (0.63%)	-0.88
2021年11月26日	38.68	0.18 (0.46%)	-0.76
2021年12月20日	38.52	0.18 (0.47%)	0.02
2022年1月20日	37.54	0.18 (0.48%)	-0.80
2022年2月24日	35.51	0.18 (0.50%)	-1.85
2022年3月22日	34.56	0.18 (0.52%)	-0.77
2022年4月20日	33.85	0.18 (0.53%)	-0.53
2022年5月20日	32.13	0.18 (0.56%)	-1.54
2022年6月21日	31.04	0.18 (0.58%)	-0.91
2022年7月20日	29.87	0.18 (0.60%)	-0.99

(注)2021年8月20日の直前の分配落日(2021年7月20日)における1口当たり純資産価格は、41.20豪ドルでした。

南アフリカランド・ポートフォリオ

(金額：南アフリカランド)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率)	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額
2021年8月20日	684.52	6.20 (0.90%)	1.80
2021年9月21日	683.14	6.20 (0.90%)	4.82
2021年10月20日	665.20	6.20 (0.92%)	-11.74
2021年11月26日	648.94	6.20 (0.95%)	-10.06
2021年12月20日	643.20	6.20 (0.95%)	0.46
2022年1月20日	630.23	6.20 (0.97%)	-6.77
2022年2月24日	596.13	6.20 (1.03%)	-27.90
2022年3月22日	578.56	6.20 (1.06%)	-11.37
2022年4月20日	566.00	6.20 (1.08%)	-6.36
2022年5月20日	536.79	6.20 (1.14%)	-23.01
2022年6月21日	518.11	6.20 (1.18%)	-12.48
2022年7月20日	496.15	6.20 (1.23%)	-15.76

(注)2021年8月20日の直前の分配落日(2021年7月20日)における1口当たり純資産価格は、688.92南アフリカランドでした。

《今後の運用方針》

〈各ポートフォリオ〉

各ポートフォリオは、引き続き各フィーダー・ファンドへの投資を通じて、主として米ドル建ての新興国債券に実質的な投資を行います。また、一部のポートフォリオでは、各フィーダー・ファンドへの投資を通じて為替取引を行います。

〈フィーダー・ファンド〉

- ・各フィーダー・ファンドは主としてマスター・ファンドへ投資を行います。
- ・ユーロ・ポートフォリオ、豪ドル・ポートフォリオおよび南アフリカランド・ポートフォリオの投資する各フィーダー・ファンドでは、米ドルに対し参照通貨で為替取引を行います。

〈マスター・ファンド〉

運用の基本方針に従って、引き続き米ドル建ての新興国債券を高位に組み入れた運用を行います。PIMCOでは、インフレ圧力が根強く主要中央銀行が引き締めの金融政策を継続する中では、先進国は今後1年間で景気後退に陥る可能性が高いと考えています。先進国の中では英国は既に景気後退入りしている可能性が高く、次いでユーロ圏、そして米国とカナダも2023年前半には景気後退に転じると予想しています。なお、家計や企業のファンダメンタルズが堅調なことから、今回の景気後退は2008年の金融危機や2020年の新型コロナショックほど深刻なものにはならないとみています。一方、過去のショック時と比較して既に政府債務や中央銀行のバランスシートが肥大化しているなか、金融・財政政策による景気へのサポート余地は限定的なことから景気後退の期間は長期化し、その後の回復にも相応の時間を要するとみています。エマージング諸国については、ブラジルをはじめとする一部の国ではFRBに先立って利上げを開始したことに加え、資源価格の上昇が落ち着いてきたことなどからインフレがピークアウトの兆しをみせており、2023年の成長率は2022年からやや持ち直すとの見通しです。また、エマージング債券市場ではスプレッドが相応に拡大しており、今後の地政学リスクの高まりなどによるボラティリティの上昇に対するクッション（緩衝材）としての役割を果たすことが期待されます。ただし、エマージング諸国間において金融・財政政策、国内の政治情勢、地政学リスクの影響度合いの観点からパフォーマンスには大きな差異が生じるものとみており、投資対象の選別がより一層重要になると考えています。こうした見通しの下、財政の健全化を進めるとともにIMFによる支援も期待できるコートジボワール等を積極方針とします。一方、カタールやアラブ首長国連邦などの中東諸国やフィリピンについては、利回り面での魅力が乏しいことなどを鑑み、消極姿勢とします。

《お知らせ》

該当事項はありません。

《ファンドの概要》

ファンド形態	ケイマン諸島籍契約型外国投資信託	
信託期間	サブ・ファンドは、管理会社が受託会社と協議の上、存続期間の延長を決定しない限り、2024年6月30日に終了します。ただし、請求目論見書に定めるいずれかの方法により当該日までに終了する場合は除きます。償還金の支払いについては、償還日以降、相応の日数がかかることがあります。	
運用方針	サブ・ファンドの投資目的は、ケイマン諸島のユニット・トラストであるピムコ・ケイマン・トラストのサブ・ファンドであるピムコ ケイマン エマーゼィング ボンド ファンドAまたはピムコ ケイマン エマーゼィング ボンド ファンドBのクラスF受益証券への投資を通じて、主として米ドル建ての新興国債券に投資することにより、最大限のトータル・リターンを追求することにあります。	
主要投資対象	サブ・ファンド	ピムコ ケイマン エマーゼィング ボンド ファンドAまたはピムコ ケイマン エマーゼィング ボンド ファンドBのクラスF受益証券
	フィーダー・ファンド	ピムコ ケイマン エマーゼィング ボンド ファンド(M)
	マスター・ファンド	エマーゼィング証券市場を有する国と経済的な結びつきを有する発行体の固定利付金融商品またはかかる証券のデリバティブ
ファンドの運用方法	<p>サブ・ファンドは、フィーダー・ファンドへの投資を通じて、主として米ドル建ての新興国債券に投資します。</p> <p>フィーダー・ファンドはマスター・ファンドに投資することによりその投資目的の達成を目指し、通常、その他の発行体の株式または債券に直接投資を行いません。</p> <p>サブ・ファンド(米ドル・ポートフォリオを除きます。)は、フィーダー・ファンドへの投資を通じて、米ドルに対し参照通貨で為替取引を行います。</p> <p>米ドル・ポートフォリオは為替取引を行いません。</p>	
主な投資制限	<p>サブ・ファンドに適用される投資制限は以下のとおりです。</p> <p>(イ) サブ・ファンドについて空売りされる有価証券の時価総額は、サブ・ファンドの純資産総額を超えないものとします。</p> <p>(ロ) サブ・ファンドの純資産総額の10%を超えて、借入れを行うものではありません。ただし、合併等の特別緊急事態により一時的に、かかる10%を超える場合はこの限りではありません。</p> <p>(ハ) 管理会社の運用する証券投資信託およびミューチュアル・ファンドの全体において、一発行会社の議決権総数の50%を超えて投資を行ってはなりません。かかる制限は、他の投資信託に対する投資には適用されません。</p> <p>(注) 上記の比率の計算は、買付時点基準または時価基準のいずれかによることができます。</p> <p>(ニ) サブ・ファンドは、私募株式、非上場株式または不動産等、流動性に欠ける資産に対しその純資産の15%を超えて投資を行いません。ただし、日本証券業協会が定める外国投資信託受益証券の選別基準(随時改訂または修正されることがあります。)(外国証券の取引に関する規則第16条)に要求されるとおり、価格の透明性を確保する方法が取られている場合はこの限りではありません。</p> <p>(注) 上記の比率の計算は、買付時点基準または時価基準のいずれかによることができます。</p> <p>(ホ) 投資対象の購入、投資および追加の結果、サブ・ファンドの資産額の50%を超えて、日本の金融商品取引法(昭和23年法律第25号(改正済))第2条第1項に規定される「有価証券」の定義に該当しない資産を構成する場合、かかる投資対象の購入、投資および追加を行いません。</p>	

	<p>(へ) 管理会社が自己または第三者の利益を図る目的で行う取引等、受益者の保護に欠け、またはサブ・ファンドの資産の適正な運用を害するサブ・ファンドのための管理会社の取引は、すべて禁止されます。</p> <p>(ト) サブ・ファンドは、日本証券業協会の「外国証券の取引に関する規則」(改訂済)第16条第9号に従い、信用リスクを管理する方法として管理会社が定めた合理的な方法に反する取引を行いません。</p> <p>サブ・ファンドの投資対象の価値の変化、再構成、合併、サブ・ファンドの資産からの支払またはサブ・ファンドの受益証券の買戻しの結果としてサブ・ファンドに適用される制限を超えた場合、管理会社は、直ちにサブ・ファンドの投資対象を売却する必要はありません。しかし、管理会社は、サブ・ファンドの受益者の利益を考慮した上で、違反が判明してから合理的な期間内にサブ・ファンドに適用される制限を遵守するために合理的に可能な措置を講じるものとします。</p>
分配方針	<p>管理会社は、その裁量により、毎月20日(当該日が営業日でない場合は翌営業日)に、純投資収入、純実現・未実現キャピタルゲインおよび配当可能資本から分配を宣言することができます。</p> <p>分配は、分配宣言(同日を含みます。)から5営業日以内に受益者(日本においては、日本における販売会社)に対して行われます。</p>

《参考情報》

【サブ・ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較】

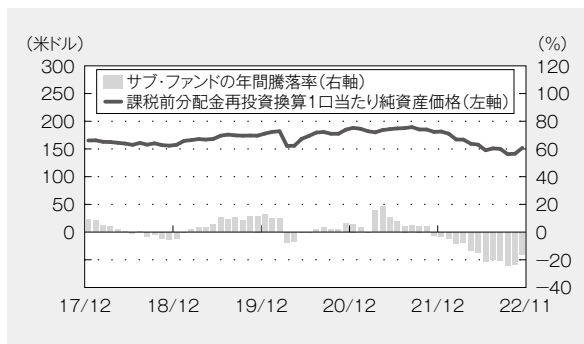
サブ・ファンドの課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格・年間騰落率の推移

2017年12月～2022年11月の5年間に於けるサブ・ファンドの課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格(各月末時点)と、年間騰落率(各月末時点)の推移を示したものです。

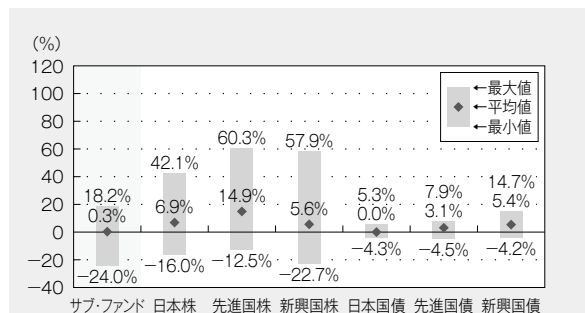
サブ・ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較

このグラフは、サブ・ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、左のグラフと同じ期間における年間騰落率(各月末時点)の平均と振れ幅を、サブ・ファンドと代表的な資産クラスとの間で比較したものです。

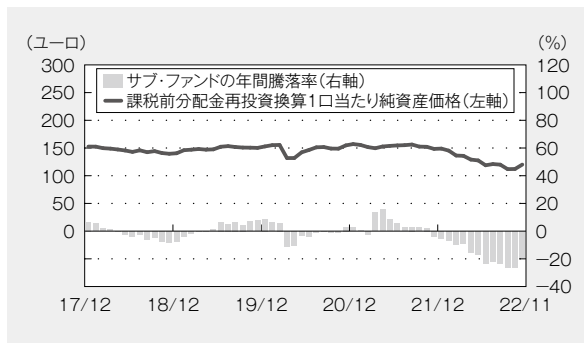
米ドル・ポートフォリオ



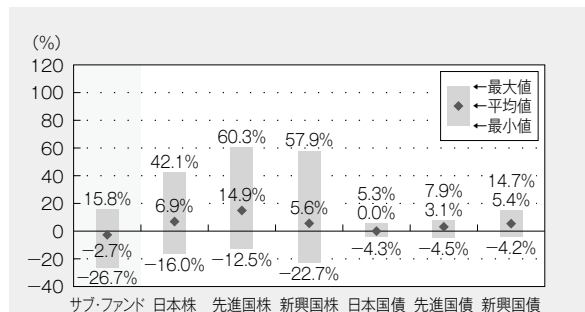
米ドル・ポートフォリオ



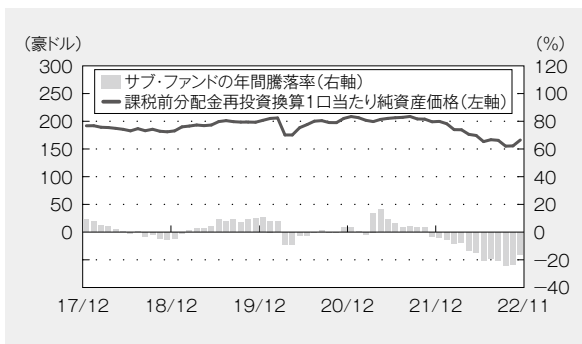
ユーロ・ポートフォリオ



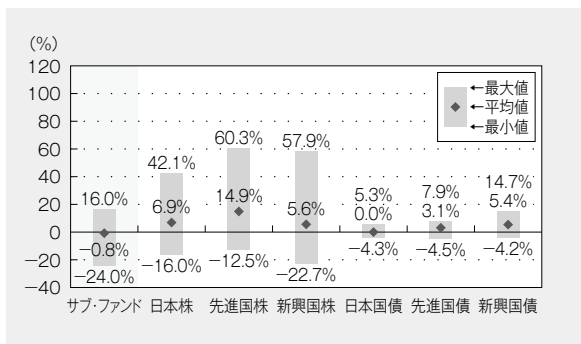
ユーロ・ポートフォリオ



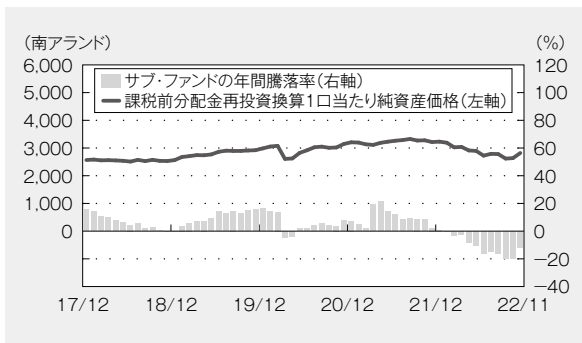
豪ドル・ポートフォリオ



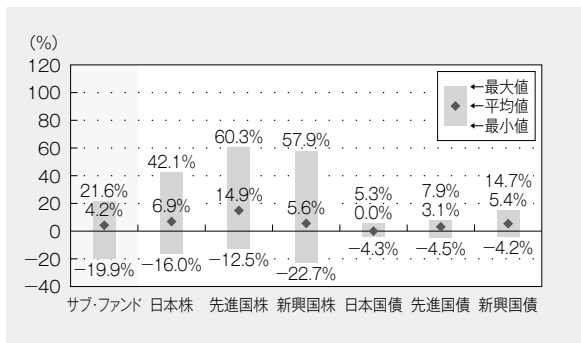
豪ドル・ポートフォリオ



南アフリカランド・ポートフォリオ



南アフリカランド・ポートフォリオ



出所：Bloomberg L.P.および指数提供会社のデータを基に森・濱田松本法律事務所が作成

※課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にサブ・ファンドへ再投資したとみなして算出したものです。

※サブ・ファンドの年間騰落率(各月末時点)は、各月末とその1年前における課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格を対比して、その騰落率を算出したものです。

※代表的な資産クラスの年間騰落率(各月末時点)は、各月末とその1年前における下記の指数の値を対比して、その騰落率を算出したものです。

※サブ・ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較は、上記の5年間の各月末時点における年間騰落率を用いて、それらの平均・最大・最小をグラフにして比較したものです。

※サブ・ファンドの課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格および年間騰落率は、実際の1口当たり純資産価格およびそれに基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※サブ・ファンドの年間騰落率は、各受益証券の参照通貨建てで計算されており、円貨に換算されておりません。したがって、円貨に換算した場合、上記とは異なる騰落率となります。

※サブ・ファンドは代表的な資産クラスのすべてに投資するものではありません。

●各資産クラスの指数

日本株・・・TOPIX(配当込み)

先進国株・・・FTSE先進国株価指数(除く日本、円ベース)

新興国株・・・S&P新興国総合指数

日本国債・・・ブルームバーグE1年超日本国債指数

先進国債・・・FTSE世界国債指数(除く日本、円ベース)

新興国債・・・FTSE新興国市場国債指数(円ベース)

(注)S&P新興国総合指数は、Bloomberg L.P.で円換算しています。

TOPIX(東証株価指数)の指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。

FTSE先進国株価指数(除く日本、円ベース)、FTSE世界国債指数(除く日本、円ベース)およびFTSE新興国市場国債指数(円ベース)に関するすべての権利は、London Stock Exchange Group plcまたはそのいずれかのグループ企業に属します。各指数は、FTSE International Limited、FTSE Fixed Income LLCまたはそれらの関連会社等によって計算されています。London Stock Exchange Group plcおよびそのグループ企業は、指数の使用、依存または誤謬から生じるいかなる負債について、何人に対しても一切の責任を負いません。

《サブ・ファンドデータ》

【サブ・ファンドの組入資産の内容】

(第13期末現在)

米ドル・ポートフォリオ

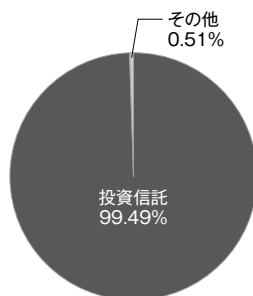
●組入上位資産

(組入銘柄数：1銘柄)

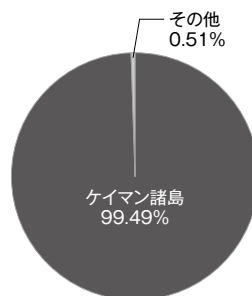
銘柄	組入比率(%)
ピムコ ケイマン エマージング ボンド ファンドAのクラスF(米ドル)	99.49

(注)組入比率は純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。以下円グラフも同様です。

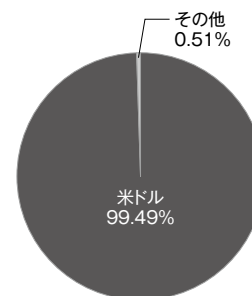
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



(注1)上記円グラフには、四捨五入した比率を記載しているため、全資産の比率の合計が100.00%にならない場合があります。

(注2)組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

【純資産等】

項目	第13期末
純資産総額	19,509,267.19米ドル
発行済口数	291,764口
1口当たり純資産価格	66.87米ドル

第13期		
販売口数	買戻口数	発行済口数
1,025 (1,025)	34,112 (34,112)	291,764 (291,764)

(注) ()の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。

【サブ・ファンドの投資するフィーダー・ファンドの概要】

●組入上位資産

銘柄	組入比率(%)
ピムコ ケイマン エマージング ボンド ファンド(M)	95.40

ユーロ・ポートフォリオ

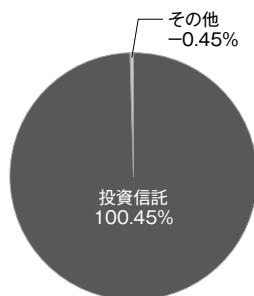
●組入上位資産

(組入銘柄数：1銘柄)

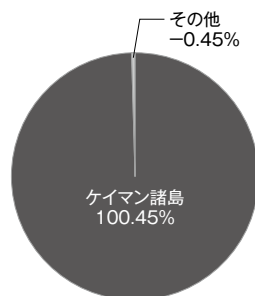
銘柄	組入比率(%)
ピムコ ケイマン エマージング ボンド ファンドAのクラスF(ユーロ)	100.45

(注)組入比率は純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。以下円グラフも同様です。

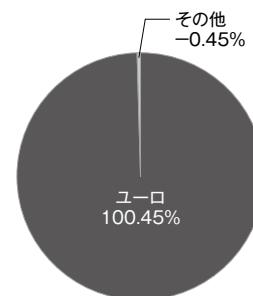
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



(注1)上記円グラフには、四捨五入した比率を記載しているため、全資産の比率の合計が100.00%にならない場合があります。

(注2)組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

【純資産等】

項目	第13期末
純資産総額	2,522,788.48ユーロ
発行済口数	57,167口
1口当たり純資産価格	44.13ユーロ

第13期		
販売口数	買戻口数	発行済口数
5,900 (5,900)	5,836 (5,836)	57,167 (57,167)

(注) ()の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。

【サブ・ファンドの投資するフィード・ファンドの概要】

●組入上位資産

銘柄	組入比率(%)
ピムコ ケイマン エマージング ボンド ファンド(M)	96.32

豪ドル・ポートフォリオ

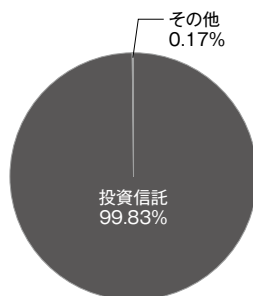
●組入上位資産

(組入銘柄数：1銘柄)

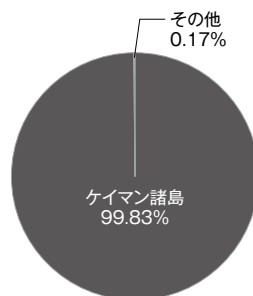
銘柄	組入比率(%)
ピムコ ケイマン エマージング ボンド ファンドBのクラスF(豪ドル)	99.83

(注)組入比率は純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。以下円グラフも同様です。

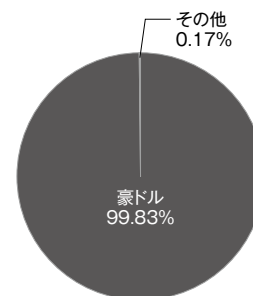
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



(注1)上記円グラフには、四捨五入した比率を記載しているため、全資産の比率の合計が100.00%にならない場合があります。

(注2)組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

【純資産等】

項目	第13期末
純資産総額	9,187,152.76豪ドル
発行済口数	295,959口
1口当たり純資産価格	31.04豪ドル

第13期		
販売口数	買戻口数	発行済口数
16,950 (16,950)	31,889 (31,889)	295,959 (295,959)

(注) ()の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。

【サブ・ファンドの投資するフィーダー・ファンドの概要】

●組入上位資産

銘柄	組入比率(%)
ピムコ ケイマン エマージング ボンド ファンド(M)	87.56
米国短期国債 0% 8/2/2022 - 10/25/2022	8.58

南アフリカランド・ポートフォリオ

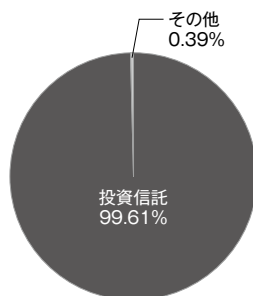
●組入上位資産

(組入銘柄数：1銘柄)

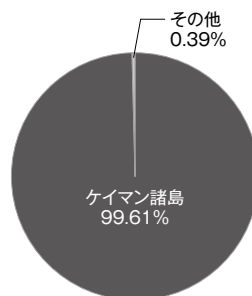
銘柄	組入比率(%)
ピムコ ケイマン エマージング ボンド ファンドBのクラスF (南アフリカランド)	99.61

(注)組入比率は純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。以下円グラフも同様です。

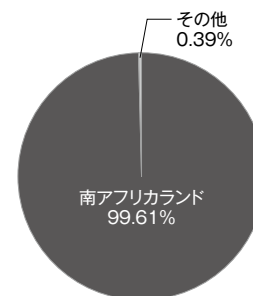
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



(注1)上記円グラフには、四捨五入した比率を記載しているため、全資産の比率の合計が100.00%にならない場合があります。

(注2)組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

【純資産等】

項目	第13期末
純資産総額	171,651,307.20南アフリカランド
発行済口数	332,365口
1口当たり純資産価格	516.45南アフリカランド

第13期		
販売口数	買戻口数	発行済口数
771 (771)	18,891 (18,891)	332,365 (332,365)

(注) ()の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。

【サブ・ファンドの投資するフィーダー・ファンドの概要】

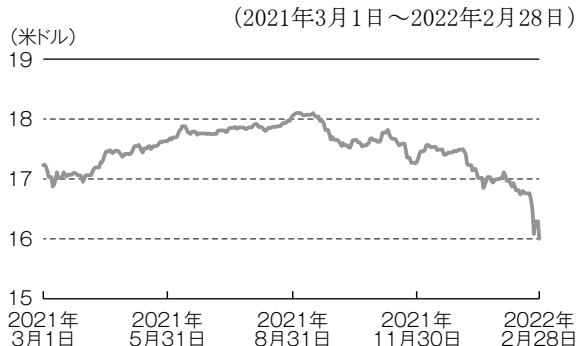
●組入上位資産

銘柄	組入比率(%)
ピムコ ケイマン エマージング ボンド ファンド(M)	87.36
米国短期国債 0% 8/2/2022 - 10/25/2022	8.56

[ご参考]ピムコ ケイマン エマージング ボンド ファンド(M)

以下は、ピムコ ケイマン エマージング ボンド ファンド(M)の直近の計算期間(2021年3月1日～2022年2月28日)および当該計算期間末日現在の情報です。

●純資産価格の推移



●1万口当たりの費用明細

(2021年3月1日～2022年2月28日)

1万口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示できません。

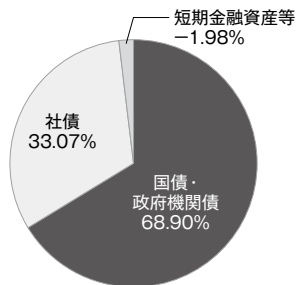
●組入上位10銘柄

(組入銘柄数：454銘柄)

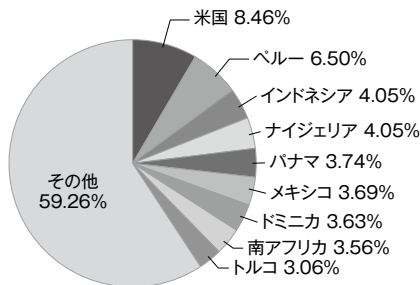
(2022年2月28日現在)

	銘柄名	クーポン	償還日	格付	組入比率	国名
1	PANAMA (REP OF)	8.13%	2034/4/28	BBB	1.76%	パナマ
2	DOMINICAN REPUBLIC REGS	5.95%	2027/1/25	BB-	1.74%	ドミニカ
3	REPUBLIC OF TURKEY SR UNSEC	5.75%	2047/5/11	B	1.54%	トルコ
4	FED REPUBLIC OF BRAZIL	4.75%	2050/1/14	BB	1.52%	ブラジル
5	EL FONDO MIVIVIENDA SA UNSEC 144A	3.50%	2023/1/31	BBB+	1.52%	ペルー
6	PANAMA (REP OF) GLBL UNSECURED	9.38%	2023/1/16	BBB	1.35%	パナマ
7	OMAN GOV INTERNTL BOND SR UNSEC REGS	6.00%	2029/8/1	BB-	1.23%	オマーン
8	MEXICO GOVT (UMS) GLBL SR NT	5.75%	2110/10/12	BBB+	1.08%	メキシコ
9	PEMEX SR UNSEC	6.63%	2038/6/15	BBB	1.08%	メキシコ
10	SOUTHERN GAS CORRIDOR GOV GTD UNSEC REGS	6.88%	2026/3/24	BB	1.05%	アゼルバイジャン

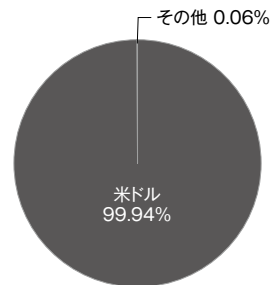
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



(注1) 比率はマスター・ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が3%未満の項目は「その他」に分類しています。
(注2) 上記円グラフには、四捨五入した比率を記載しているため、全資産の比率の合計が100.00%にならない場合があります。